



## 新型コロナウイルス感染症対策に伴う短期・集中的な子どもと子育て家庭の見守り活動について

新型コロナウイルス感染症対策に伴う学校の休業や外出自粛などの社会環境の変化は、様々な生活不安やストレスの要因となっており、子どもへの精神的、身体的な虐待やネグレクトなど、児童虐待の深刻化が懸念されています。

また、子育て世帯の働き方も大きく変わり在宅勤務が増える中、在宅勤務と育児の両立や長時間在宅勤務による家族関係の変化など、新たな課題も生じています。

松戸市では、こうした課題に対応するため、保育士によるモニタリングを行うなど、短期・集中的な子どもと子育て家庭の見守り活動を実施いたしました。

このような活動を通じて得た課題から、新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波に備えた新たな取組みを進めてまいります。

### 1 保育所（園）での取組み

#### (1) 保育士によるモニタリング

##### ① 概要

- 家庭での様子を把握するため週1回、保育士による電話モニタリングを実施しました。
- 電話に出ることができる子どもとは直接会話をするとともに、支援が必要であると思われる家庭に対しては状況によって保育所への登所や相談を促すなど対応しました。

##### ② 対象者

- 4月8日（登園自粛要請）から4月27日まで1回も登所（園）していない世帯。
- この間の長期欠席世帯数は2,253世帯。保育所（園）利用世帯の30.6%（総世帯数 7,359世帯、5月7日時点。）

##### ③ 実施期間

- 4月28日から開始。現在も週1回実施中  
※登園自粛要請期間中は、継続して実施していく予定です。

##### ④ 保護者等からの声

###### 【良かった点】

- 子どもと過ごす時間が長くなったことで、子どもの成長を感じる事が出来た。
- 離乳食が進んだ、おむつがとれた、字が書けるようになったなど。
- 父親と一緒にいる時間が増え「パパといたい」と子どもが言うようになった。
- 担任と話ができてうれしい、話を聞いてもらいすっきりした。…など
- 家の中で電話をしているため、身内に聞かれないのか言葉を濁す保護者もいたが、松戸市の子育て世帯向け相談窓口一覧冊子「ひとりで悩まないで」があったことで、園としても心強かった。



### 【心配な点】

- コロナの影響で解雇になった、収入が減ってしまった、感染が心配で外に出られないなどの生活の不安
- 夫婦喧嘩をしてしまったとの声も多い。
- 子どもがうるさくてイライラする、生活リズムが崩れてしまった等、子どもに関すること。
- 子どもがいると在宅勤務が進まない、父だけが在宅の時には心配、など在宅勤務と育児の両立の困難さ。

### ⑤ 課題

- 家庭での保育が長期にわたることにより、イライラが募る、子どもを怒ることが多くなったなど、家庭の状況に変化がみられる。
- 在宅勤務と育児の両立の難しさがある。
- 年齢的に電話に出られない、恥ずかしがって電話に出ない等、直接子どもの様子を把握できないケースがあった。

## 2 幼稚園での取組み

### (1) 幼稚園教諭によるモニタリング

#### ① 概要

- 担任から在園児宅に電話などを入れていただくよう幼稚園にお願いしました。
- 方法としては、電話だけではなく、担任が手作り教材を各家庭のポストに投函しながらインターホン越しに話をしたり、WEB会議ツールの「Zoom」を活用し、オンラインクラス会を実施したりするなど、各幼稚園の特色を活かした対応をしていただきました。

#### ② 対象者

- 幼稚園在園児（各園による）

#### ③ 実施期間

- 4月27日から開始（実施頻度は各園による）

#### ④ 保護者等からの声

##### 【良かった点】

- 保護者も子どもも、担任からの電話やメッセージを喜び、感謝のコメントを幼稚園に寄せた。
- 教材などを提供することにより子どもたちの気持ちが紛れた、親子で取り組むことで在宅時間を有意義に過ごせたといった声をもらった。

##### 【心配な点】

- 保護者がイライラしているようであった。
- 保護者の気持ちが落ち込んでいるようであった。

### ⑤ 課題

- 完全休園のため、取組みを行っていない幼稚園もあった。
- 電話で本音を打ち明けられない保護者も多く、困っている様子をキャッチしきれないケースもあった。



### 3 おやこDE広場、子育て支援センターでの取り組み

#### (1) 子育てコーディネーターによるモニタリング

##### ① 概要

- おやこDE広場及び子育て支援センターに勤務する子育てコーディネーターが電話で近況等を確認しました。
- また、外出自粛等で、子育てに関する悩みを相談することが出来ない保護者を対象として、電話等による相談窓口を開設し対応しました。

##### ② 対象者

- 主に施設利用したことのある世帯（保護者と子ども）

##### ③ 実施期間

- 令和2年4月28日～5月27日

##### ④ 実施結果

- 子どもと話そう電話件数：324件（電話に応答があった件数）
- 電話等による子育て相談：110件

##### ⑤ 保護者等からの声

###### ○子どもと話そう（子育てコーディネーターから保護者等への電話）

- 外出自粛で誰とも交流できない状況が続く中、以前に利用したおやこDE広場のスタッフから連絡を頂き、「大丈夫ですか、何か困りごとは無いですか」、などやさしく言葉をかけてもらえ、そういった心遣いがとてもありがたかった。
- いきなり電話ではじめは驚いたが、しばらく他人との会話が無い状況だったので、子どもも嬉しそうだった。
- 今まで経験したことのない状況の中、同じ歳頃の子を持つ保護者の近況等も聞けて少し安心した。

###### ○電話等による子育て相談

- 離乳食のことなど、気軽に相談できる場であった、おやこDE広場が閉所となり不安であったが、電話でも相談できることを知り、多少不安が解消した。
- 子どもが人見知りで自粛生活明けの慣らし保育についての不安があったが、子育て支援センターに電話で相談したところ、色々とお話を聞いてもらえて本当に良かった。
- このような状況でも相談の窓口が多いと安心できる。特に直接話せる電話相談は本当にありがたい。
- 感染しないか不安で子どもを連れて買い出しに行けないので困っている。少しの時間でも子どもを預かってもらえるとありがたい。

##### ⑥ 課題

- 子どもと話そうについては、急な電話で驚かれてしまう方やそもそも電話に出て頂けないケースが多かった。
- 電話等による子育て相談についても窓口があることを知らない方もいた。
- 市ホームページ等で周知は行ったものの、周知方法等について検討する必要がある。



## 4 支援ニーズの高い児童に対する取組み

### ① 概要

- 4月24日より、支援ニーズの高い児童（要保護対策児童地域協議会に登録されている小中高年生及び未就学の全児童）について、保護者、児童への電話、訪問、関係機関の協力による状況確認を実施しました。
- また、5月8日には、松戸市児童虐待防止ネットワークより、同ネットワーク構成機関に対しての協力を要請し、地域ネットワークを総動員して見守り体制を強化することで、早期発見・早期対応に努めているところです。

### ② 対象児童（5月28日時点での集計結果）

- 561名
- 状況確認ができた児童 543名
- 状況確認ができていない児童 18名
- 全対象児童の状況確認を目指し、引き続き状況確認ができていない児童の調査を継続。

### ③ 確認された状況及び対応例

- 登園の自粛により、育児負担を理由とする保護者のストレスが蓄積していたため、保育課と連携の上、保育所での保育実施につなげた。
- 就労先が休業、保護者の収入が無くなり、所持金がわずかであったため、フードバンクの活用や生活保護受給へとつなげた。
- 保護者へ電話連絡したところ、子どもの居住地が変わり、虐待リスクが高まっていることが判明したため、緊急訪問を実施した。

### ④ 課題

- 虐待者が在宅勤務で終日自宅にいるため、自宅訪問や電話連絡が困難な事案がある。

### ⑤ 児童虐待相談受付状況（松戸市子ども家庭相談課）

- 平成30年 3月43件、4月42件、5月50件
- 令和元年 3月82件、4月55件、5月76件
- 令和2年 3月73件、4月78件（暫定値）  
5月75件（5/28日現在暫定値）

## 5 新型コロナウイルス感染症の第2波・第3波に備えた新たな課題と取組み

- モニタリングによって、その時々困りごとに寄り添い対応していくには、週1回の頻度が必要であることから保育の実施体制を検討する。
- 今後、保育所（園）への登園自粛・休園になった際には、在宅勤務で家庭保育の協力をいただいている方にも相談に乗りながら柔軟な受け入れを行うとともに、モニタリングで把握した心配な家庭については保育所（園）への登所や相談を促すための体制を整備する。
- 保育士発信のYouTubeを子どもが見て喜んでいるとの声も多く聞かれたことから、環境を整えば動画配信などを活用したりリモート保育も検討する。
- 幼稚園の完全休園で、モニタリングなどの取組みを行えなかった幼稚園に向けては、他園の好事例となった取組みをお知らせし、園児の状況確認の重要性について改めて理解を求める。

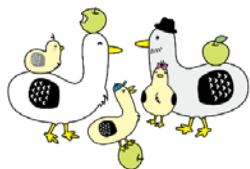


- 自宅訪問や電話連絡が困難な事案についても、メールや関係機関を通じた連絡により対応していく。

また、実施の結果、電話で気軽に話や相談ができる窓口の必要性について再認識したことから、今後の新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波に備え、電話やメールの相談だけでなく、Z o o mやL I N Eを活用した相談窓口も新たに設置し、このような緊急時の状況の中でも、保護者や子どもたちとの繋がりを絶たない仕組みを構築しました。

## 【新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波に備えた新たな取組み】

### 「まつどDE子育てオンライン広場・子育てオンライン相談・予約制子育て相談」



- ・外出自粛などにより他の保護者との交流の場がない
- ・子育てに関する悩みやストレスを一人で抱えている

などございましたら、お気軽にご相談ください！

実施予定期間：令和2年6月1日から令和2年6月30日まで

まつどDE子育て オンライン広場	Z o o m等のアプリを利用し、子育て中の親子が自宅から気軽に参加し、他の親子や市が委託する子育て支援員らと交流ができるオンライン広場を月に8回程度（週2を目安）開催します。
子育て オンライン相談	LINE等のビデオ通話機能を利用したオンライン相談を実施し、相談者が自宅等に居ながら、子育てコーディネーターと顔を合わせて子育て相談が行える窓口を開設します。
予約制 子育て相談の実施	現在、休所中の子育て支援センター及びおやこDE広場に、子育てコーディネーターと一対一で直接相談が行える予約制の子育て相談窓口を開設します。



現在実施している保育士や幼稚園教諭によるモニタリングの取組みを公開します。

**保育所（園）の取組み**

【日時】 6月5日（金）・8日（月）・12日（金）各13時～15時

【場所】 北松戸保育所（松戸市上本郷3870）

**幼稚園の取組み**

【日時】 幼児教育課で調整させていただきます。

【場所】 まるやま幼稚園（松戸市大橋372）

**【お問い合わせ先】**

**保育所（園）の取組み**

子ども部保育課 ☎047-366-7351

**幼稚園の取組み**

子ども部幼児教育課 ☎047-701-5126

**おやこDE広場の取組み**

子ども部子育て支援課 ☎047-366-7347

**支援ニーズの高い児童に対する取組み**

子ども部子ども家庭相談課 ☎047-308-7210

